



東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開をしています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数（週別推移）

1.全数把握対象感染症

対象疾患	2011年	2012年							
	累計	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	累計
（二類感染症） 結核	154	3	2	3	2	4	1	2	106
（三類感染症）	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	3	0	0	0	0	0	0	5
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
（四類感染症）	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	3	0	0	0	0	0	0	1
	レプトスピラ症	1	0	0	0	0	0	0	0
（五類感染症） 全数報告	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	0	0	2
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	6	0	0	0	0	1	0	3
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	1
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	8
	麻疹	4	0	0	0	0	0	0	0

2.定点把握対象感染症（月報告）（五類感染症）

対象疾患	定点 医療 機関数	2012年							
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
性器クラミジア感染症	1	0	0	1	2	0	1	0	1
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	1	0	0	1	0	0	1
尖圭コンジローマ	1	1	2	2	3	2	3	0	4
淋病感染症	1	0	0	1	0	0	0	0	1
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	0	1	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点医療機関数	2012年							
		42週		43週		44週		45週	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
RSウイルス感染症	7	3	0.43	1	0.14	3	0.43	0	0.00
咽頭結膜熱	7	0	0.00	0	0.00	1	0.14	4	0.57
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	0.43	0	0.00	1	0.14	0	0.00
感染性胃腸炎	7	21	3.00	18	2.57	50	7.14	51	7.29
水痘	7	6	0.86	16	2.29	7	1.00	18	2.57
手足口病	7	2	0.29	4	0.57	2	0.29	9	1.29
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	7	2	0.29	3	0.43	3	0.43	1	0.14
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	2	0.29	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	2	0.29	1	0.14	7	1.00	4	0.57
川崎病(注1)	7	0	0.00	0	0.00	1	0.14	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	0	0.00	1	0.14	1	0.14	1	0.14
インフルエンザ(注2)	11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	1	1.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■全数報告感染症

結核の届出2件、その他感染症の発生の届出はなし。

■風しん

東京都での風しん患者が急増しており、7月12日に「都内における風しん患者の急増について」のプレス発表をいたしました。北区でも、2012年の合計は8件となっています。今後の流行の可能性が考えられますので、予防対策に万全を期してください。

■感染性胃腸炎

北区での発生は、第43週2.57から第44週7.14、第45週7.29と急激に増加しています。例年、冬にかけて感染が急激に拡大する感染症ですので、家庭、学校及び施設等での手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

●感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■その他の定点感染症

手足口病、突発性発しん及び流行性耳下腺炎等の発生がみとめられますが、特異な発生とはなっていません。

III 医療機関からのコメント

■(王子地区) 水痘が局地的に流行しました。感染性胃腸炎が流行してきました。

IV 注意情報・お知らせ

■感染性胃腸炎

例年、11月から2月にかけての時期は、保育園や幼稚園、高齢者施設などを中心にノロウイルス等を原因とする感染性胃腸炎の集団感染が多数報告されています。これからの時期においては、各施設において、手洗いの徹底や施設の衛生的管理など、感染症の予防のため特に注意し対策を行うことが必要です。

11月1日に東京都では注意喚起のプレス発表をしました。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/11/20mb1700.htm>

■RSウイルス感染症

東京都でのRSウイルス感染症の報告数が増加しています。9月13日に注意喚起のプレス発表をしています。RSウイルス感染症

は、かぜに似た症状で多くの場合軽症で治まりますが、感染力は強く、1歳未満の乳児の場合や、先天性心疾患、慢性肺疾患な

どを持つ小児の場合は、重症化するおそれがあるため、早めの受診や感染予防にこころがけてください。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/09/20m9e200.htm>

■ インフルエンザ、感染性胃腸炎の疫学調査の開始について

2012-13年シーズンのインフルエンザ及び感染性胃腸炎の各種サーベイランスが第35週より開始されます。情報の解析、集積を行うことにより、平常時のデータと比較することで、流行規模や病原性等を判断する材料とされます。東京都全域で集約、分析され、随時、東京都のホームページで公開される予定です。

■ 都内における風しんの流行について

本年1月より近畿地方にて患者の報告数が増加していました。都内でも7月より患者数が急増しており、注意喚起のプレス発表をしています。予防対策等に万全を期すようお願いします。

● 東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/07/20m7cb00.htm>

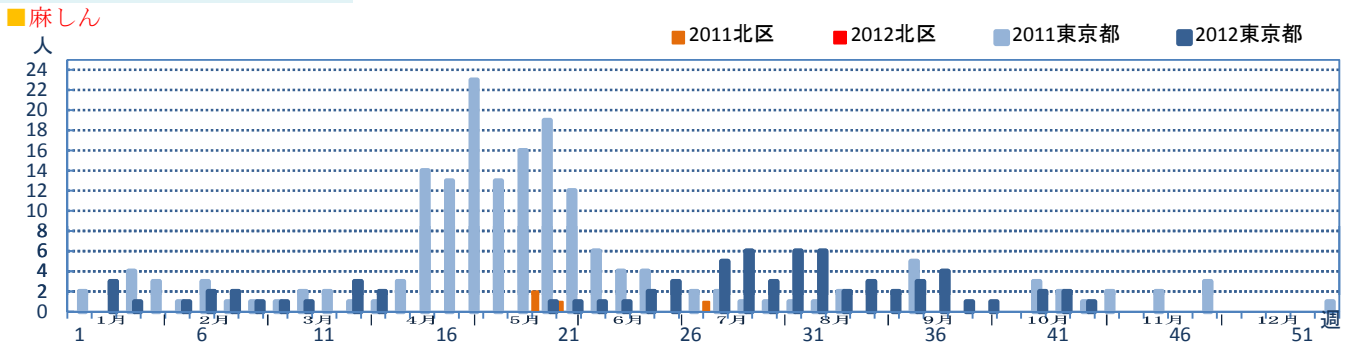
■ 麻しん

国では、麻しん排除計画を策定し、2012年までの排除達成を進めています。麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

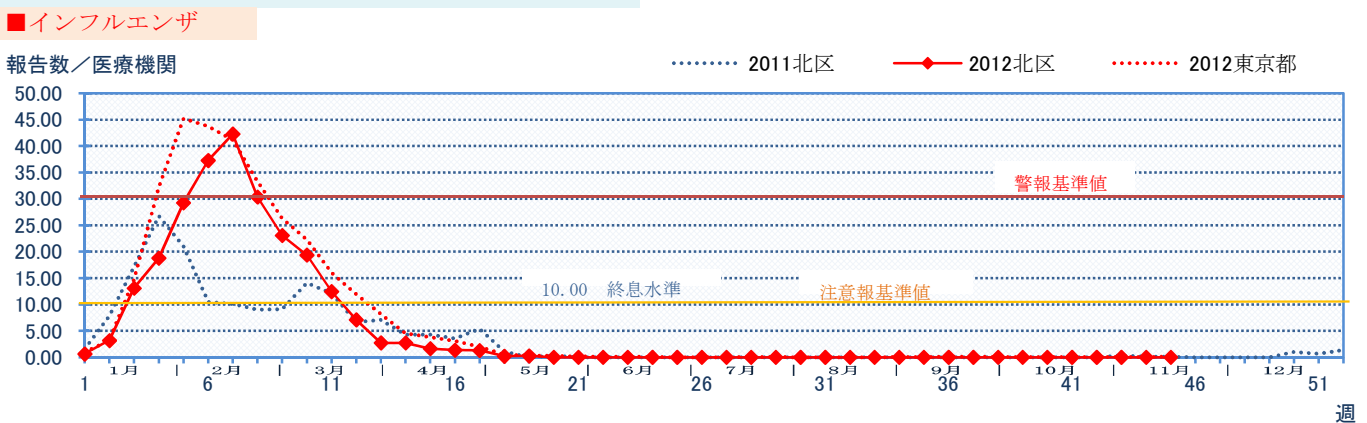
● 予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

V 感染症別グラフ

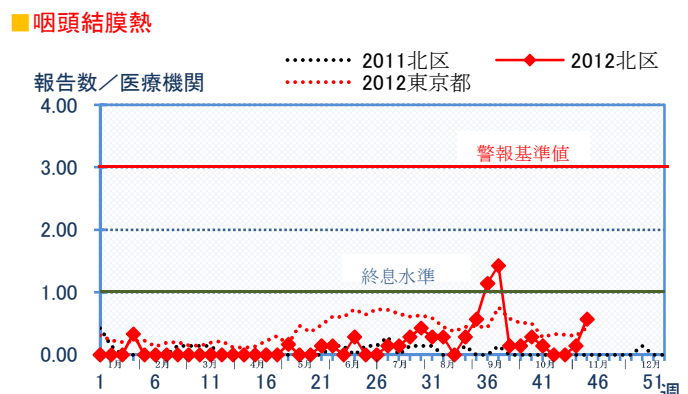
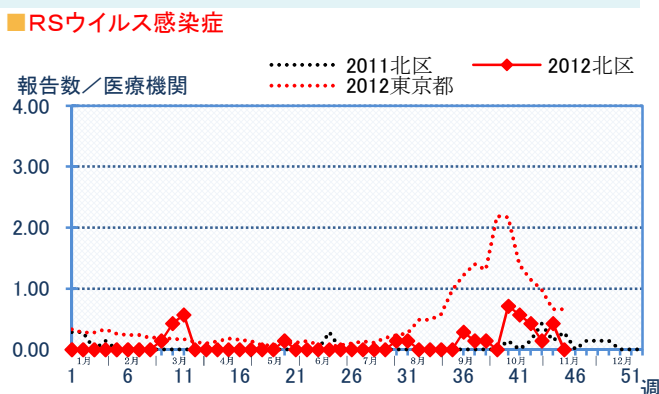
1. 全数把握対象感染症



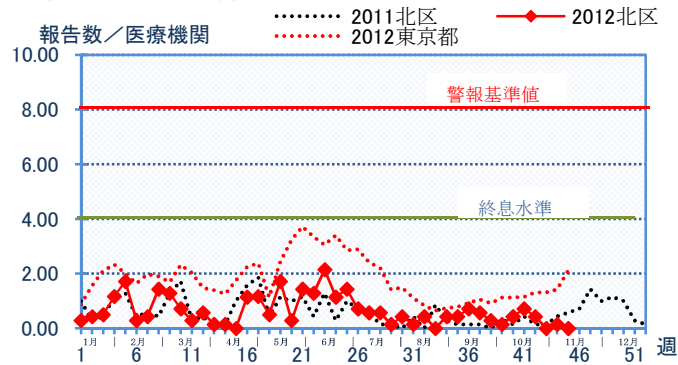
2. 定点把握対象感染症(週報告) 内科定点



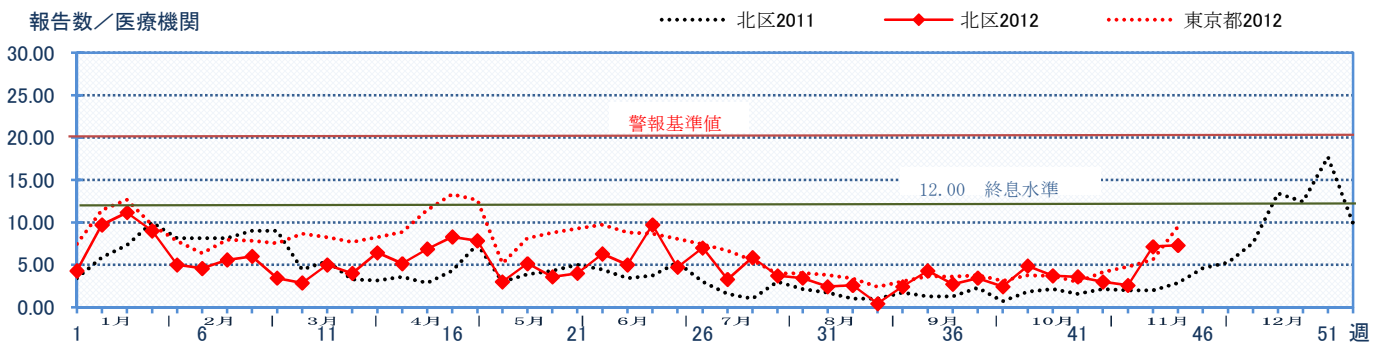
3. 定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点



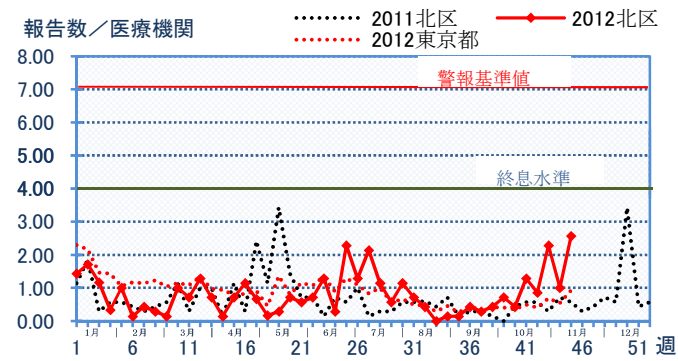
■ A群溶血性レンサ球菌



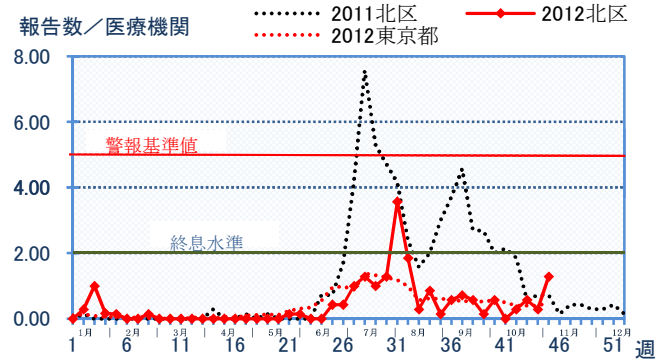
■ 感染症胃腸炎



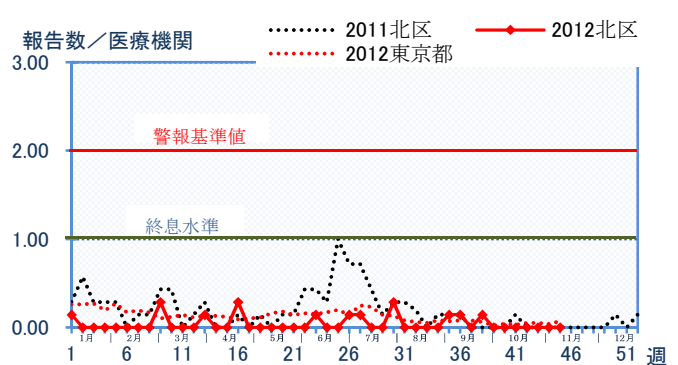
■ 水痘



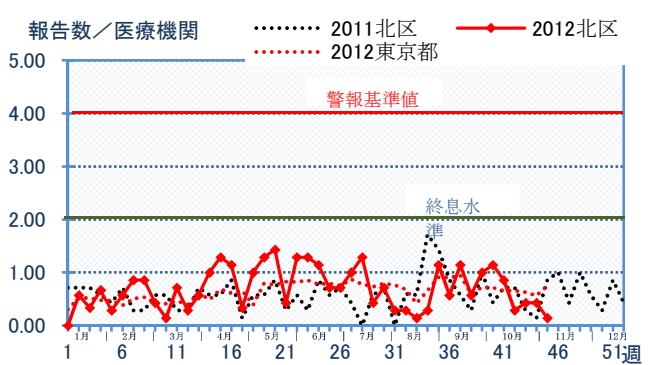
■ 手足口病



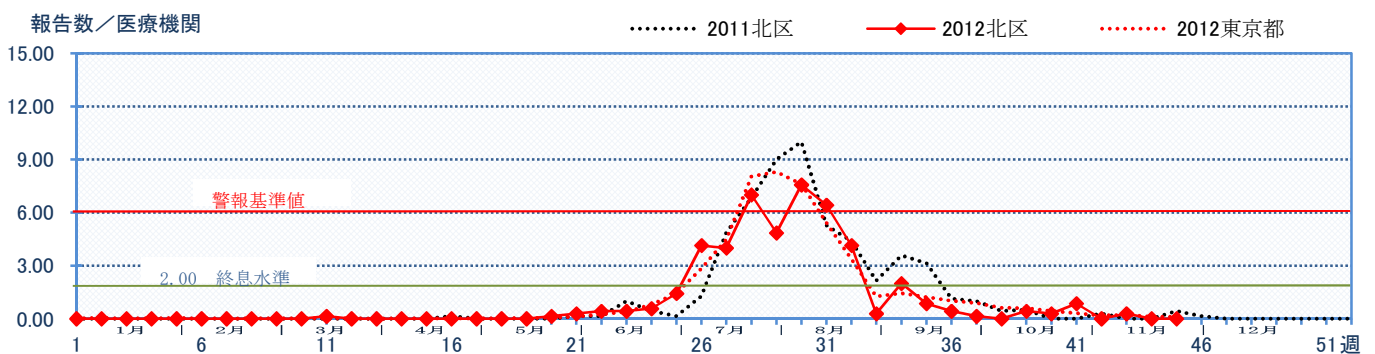
■ 伝染性紅班



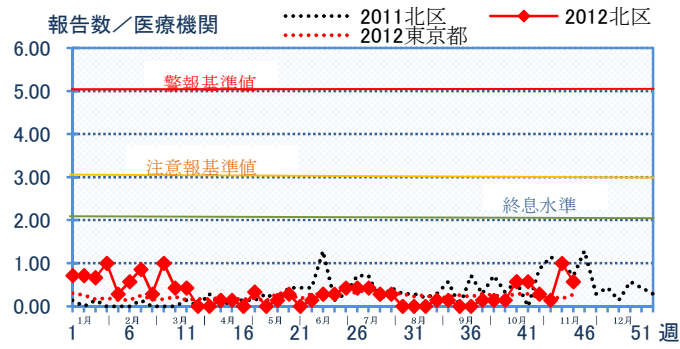
■ 突発性発しん



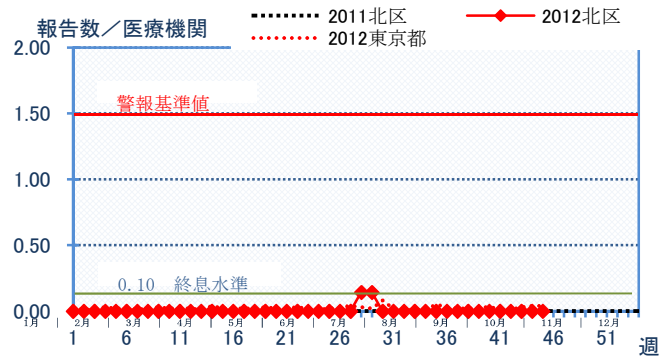
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

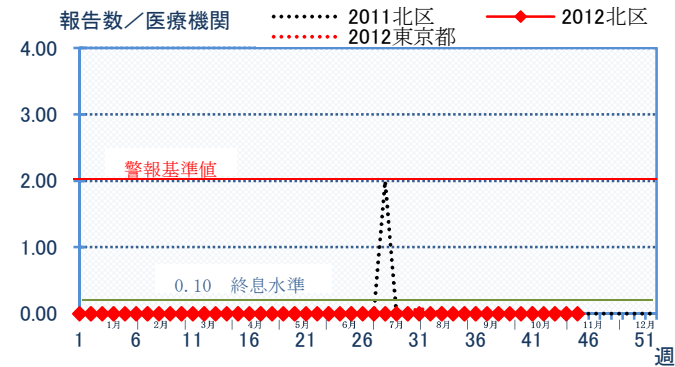


■百日咳

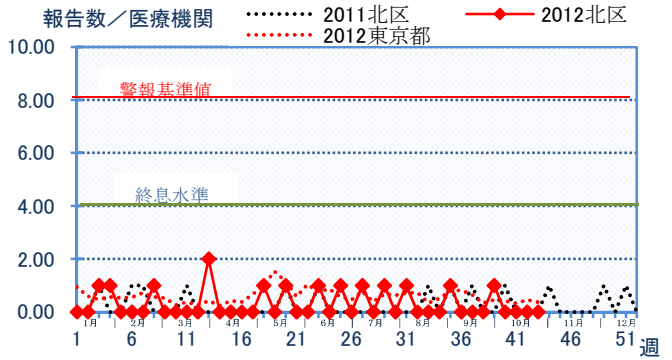


4. 定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎

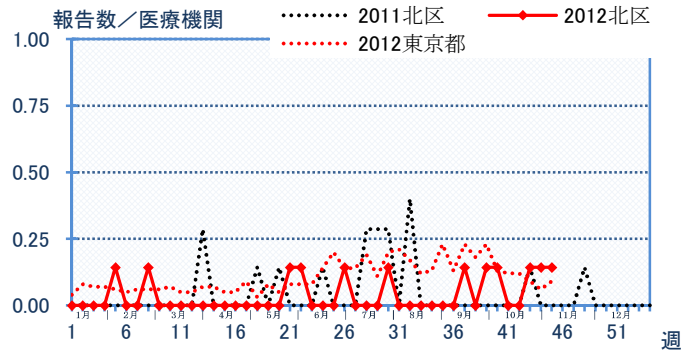


■流行性角結膜炎



5. 東京都独自指定疾患

■不明発しん症



■川崎病



2. 定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

※2012年11月分は2012年第48週にて公開予定です。

■性感染症

